

[成果情報名]ラベンダー品種「長崎 Lav3」「しずか」の冬季出荷作型の開発

[要約]4号鉢ラベンダー品種「長崎 Lav3」は9月10日、「しずか」は9月30日までの秋季切り戻しを行うと12月、1月に開花する。3号ポット「しずか」は、10月1日切り戻すと5枝に花穂着生し、全てのポットで開花する。

[キーワード]ラベンダー、作型

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先](代表)0957-26-3330

[区分]花き

[分類]指導

[作成年度]2020年度

[背景・ねらい]

ラベンダー鉢物については、長崎県内で「城南1号」「リトルマミー」が生産され、2018年に出願公表され長崎県が育成者権を有する「しずか」「長崎 Lav3」の生産も開始している。既存品種の1季咲き品種や「リトルマミー」の2季咲き品種とは違い、「しずか」「長崎 Lav3」は、開花ごとに切り戻し、電照を行うことで春季、夏季、秋季の3季に開花させることができる。その後冬季に低温遭遇させ2月から加温を開始し、4、5月の春季に開花させている。

今回、他産地との更なる差別化のため、ラベンダーにおいて通常出荷が不可能とされている、冬季開花作型を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 「長崎 Lav3」は、9月10日に切り戻しても年内正常に開花するが、9月20日に切り戻すと開花率75%となり、9月30日に切り戻しを行うと殆どが正常に開花せず、開花してもブラインドが発生する(表1、写真1、2)。
2. 「しずか」は、9月10日に切り戻すと年内に、9月30日に切り戻すと1月に開花する。9月30日切り戻しは9月10日と比較し到花日数が長くなるが、花穂枝数、花数も多くなる(表1)。
3. 3号ポット10月1日切り戻し1月開花において、「リトルマミー」は開花及び花穂着生しないが、「長崎 Lav3」は63%程度のポットで開花、1株当たり1.3枝に花穂着生し、「しずか」は全てのポットで開花し、1株当たり5枝に花穂着生する(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「しずか」は3号ポット、4号鉢において冬季開花栽培が可能であり、「長崎 Lav3」は9月10日までの切り戻しであれば、冬季開花が可能である。
2. 「しずか」9月30日切り戻しについて、12月からの加温により開花の前進化が可能と考えられる。

【耕種概要】

4号鉢は2020年春季に開花させた3号ポットから7月上旬に4号鉢に鉢上げし、9月に開花させた鉢を使用した。電照処理は白熱球で9月15日より22時から3時、切り戻し後、ガラスハウス内で管理した。無加温で12月中旬からは内張を設置し、日中は出入り口を開放し換気を行った。

3号ポットは2020年7月17日冷房室で挿し芽、8月6日3号ポットへ移植後前記ハウスで管理した。

【試験区の概要及び調査方法】

4号鉢は「長崎 Lav3」を、2020年9月10日、9月20日、9月30日に切り戻した。「しずか」は9月10日、9月30日に切り戻した。節数は、切り戻し後萌芽した芽の節を数えた。着色は花穂全体がラベンダー色に着色した数を、未着色花穂側枝は小花に緑が残る未発達の花穂を数えた。

3号ポットは10月1日に株を切り戻したのち、前記4号鉢と同じ管理をし、開花調査は2021年1月15日に行った。

[具体的データ]

表1 4号鉢「長崎Lav3」「しずか」の冬季開花作型における各切り戻し日別開花日と側枝、花穂特性

品種名	切り戻し日	開花株率	ブラインド発生株率	花穂着色日	開花日	切り戻しから開花日までの日数(日)	着色花穂側枝数(節)	未着色花穂側枝数(節)	花穂長(cm)	花数/穂(個)
「長崎Lav3」	9月10日	100%	0%	11月21日	11月30日	81 ± 11.5 ^z	9.4 ± 2.0	10.2 ± 2.5	4.1 ± 0.8	64.6 ± 18.0
	9月20日	75%	0%	11月30日	12月11日	84 ± 8.7	8.8 ± 1.3	9.6 ± 1.7	4.0 ± 0.9	54.3 ± 15.3
	9月30日	15.4%	100%	-	-	-	-	-	-	-
	有意差 ^y					n. s	n. s	n. s	n. s	*
「しずか」	9月10日	100%	0%	11月26日	12月3日	85 ± 7.9	8.1 ± 1.3	8.6 ± 1.6	2.3 ± 0.5	43.2 ± 12.7
	9月30日	100%	0%	1月2日	1月12日	105 ± 9.7	10.6 ± 1.3	10.7 ± 1.5	2.9 ± 0.6	64.0 ± 11.2
	有意差					**	**	**	**	**

^z 平均値±標準偏差

^y t検定により、**は1%、*は5%水準で有意差あり、n. s有意差無し。「長崎Lav3」については9月10日、9月20日切り戻しを検定した。



写真1. 「長崎Lav3」切り戻し時期の違いによる生育比較 (2020年11月16日撮影)

切り戻し日 左: 9月10日 中央: 9月20日 右: 9月30日



写真2. ブラインドが発生した花穂
左: ブラインド発生花穂 右: 正常花穂

表2 3号ポット「長崎Lav3」「しずか」「リトルマミー」冬季栽培における側枝の発達程度

品種	開花株率	開花花穂側枝数/株(本)	未着色花穂側枝数/株(本)	伸長側枝数/株(本)
「長崎Lav3」	63%	1.3	0.6	4.0
「しずか」	100%	5.0	1.2	0.7
「リトルマミー」	0%	0	0	11.0

※2020年7月17日冷房室で挿し芽、8月6日3号ポットへ移植後栽培し9月30日に株を切り戻した。株の調査は2020年1月15日に行った。

※開花は花穂の花が開花したもの、発雷枝は未発達の花穂がついた枝、伸長枝は発雷していない枝を数えた。

[その他]

研究課題名: 魅力ある「ながさきオリジナル品種」開発

予算区分: 県単

研究期間: 2018~2020年、研究担当者: 櫛山妙子